令和6年度		教育指導の)重点及び学校経営計	画						
							学校番号 31	学校名	郡上北高等学校	
学校教育目標 (教育方針)		生徒一人一人を大切にした信頼と愛情に基づき、常にほほえみと感動のある教育を目指し、日々の教育実践の中で、次の教育目標の達成に努める。 (1) 基礎学力の定着を図るとともに、創造的思考力を育成する。 (2) 体力・気力を養い、「不撓不屈」(校副)の精神を育成する。 (3) 礼儀を重んじ、社会秩序を守り、正しい行動ができる能力と態度を育成する。 (4) 個性をのばし、正しい職業観を身に付け、すすんで自己実現を図る態度を育成する。 (5) 郷土や祖先を敬愛し、人間を尊重する精神を育成する。 (6) 連携型中高一貫教育を推し進めるなかで、中学校とのさまざまな交流を通して「学力の向上」と「豊かな心の育成」を図る。								
3 つの方針 (スクール・ポ リシー)		「不撓不屈の精神で未来を切り拓く社会人」 - 自分のよさや可能性を知り、生涯を通して自らを高め続ける生徒 - 他者を尊重し、多様な人々と協働できる生徒 - 他者を尊重し、多様な人々と協働できる生徒 - 持続可能な社会の創り手となれる課題解決能力をもった生徒 - 基礎学力を確実に育む授業の推進 - 自己実現への目標をもち、主体的に学べる学習環境の整備 - 自他の考えを認め合う姿勢を身に付け、新たな価値を生む力を育成するため、協働的な学習活動の工夫 - アーシャルスキル、課題解決能力、進路目標を実現する力を養うため、郡上市を学びの場とした探究的な学びや実社会に即した学びの推進。								
		 自ら学び、自ら考え、主体的に行動しようとする生徒 多様な考えを取り入れ、ものの見方や考え方を広げようとする生徒 地域活動に参加して、学んだことを実社会で活かそうとする生徒 								
学校の抱える課題		生徒数減少に伴う今後の学校運営(篩活動・学校行事等の在り方など)国公立大学受験から就職まで、生徒の多様な進路実現に係る効果的指導及び多系統の教育課程への対応								
教育指導の重点		領域・分野	1) 確かか受力をつけます							
		学習指導	1)確かな字力をつけます - 本基礎予力をつけます - と基礎予力を含めてきる学力を育成します - 2) 共に生きる力を養います - 本本的生活習慣を身につけ集団の一員として規則やマナーを守り、相手の気持ちを考えて責任ある行動がとれる人材を育成します - 地域社会の一員としての意識づけを図ります - 3)自立する力を育てます - 1							
		生徒指導								
		進路指導 つりが育じます ~ 1年生「自己理解」、2年生「自己啓発」、3年生「自己実現」という各学年の進路目標に従ってキャリア教育を推進し、自ら考える生徒を育成します ~ 2年生「自己理解」、2年生「自己啓発」、3年生「自己実現」という各学年の進路目標に従ってキャリア教育を推進し、自ら考える生徒を育成します ~ 2年								
			年 度 目 標				年度末	· 価(自 =	3 評価)	
領域 分野	3 つ	3 つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策 県教育振興』 での位置			#画 達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内 評価項目の達成状況		評価 B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
で指導が行 ②「自学自 し、家庭等 ③家庭や均		で加へな米を大地しよう。 習ノート」、「進路実現ノート」の取り組みを推進 習習慣の確立と基礎学力の定着を図ります。			「5」または「4」と回答する生 使90%以上 ②授業評価アンケートで「授業の の項目で「5」または「4」と回答 する生徒90%以上 ③授業課価アンケートで「先生の の項目で「5」または「4」と回答 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
	④生徒の授 し、教員の ①登校時の				使90%以上 GICTに係るアンケートで「興					-
生徒指導 ②社会のハ 指導を心か ③生活アン 動を通して ない学校を ⑤地域行事		ールの意義を理解させるため、毅然とした態度での け、生徒の規範意識を醸成します。			●地域行事またはボランティア活動に参加したことがある生徒70%以上					
進路指導	ポートを活 学年にあわ ②地元企業 ターンシッ す。 ③郡上市雇	見通した連絡指導計画に基づき、ネャリア・バス 用しながら、卒業後の連路希望に応じた進路指導を セプイパレます。 にや地元福祉艦等の協力のもと、2年生全員のイン ブを実施し、望ましい動労観や職業観を育成しま (無対策協議会と連携をとり、模様観をやで表別身会 、、高校卒業後、即戦力となれる人材育成を行いま 13 施策			●・各学年最終連路希望調査で希 望未定者の ・卒業時の進路未定者の ●銃職者に占める地元就職率7 の%以上					
	す。 ④進学希望		・進学ガイダンスを行い、明確な進	13 施策Ⅱ	-13 ●進学希望者の進学決定率10 0%					-
来年度に向けての改善方策等					実施日:令和7年 月 日	学校関係者評価			実施日:令和7年	月 日
									_	